

# 神経内科

## Neurology

教授	田中耕太郎	Kortaro Tanaka
准教授	高嶋修太郎	Shutaro Takashima
助教	田口 芳治	Yoshiharu Taguchi
助教	道具 伸浩	Nobuhiro Dougu
医員	温井 孝昌	Takamasa Nukui
医員	小西 宏史	Hirofumi Konishi
医員	吉田 幸司	Koji Yoshida
医員	林 智宏	Tomohiro Hayashi
医員	山本 真守	Mamoru Yamamoto

### ◆ 著 書

- 1) 田中耕太郎. イヤーノート 2015 年版 内科・外科編. 岡庭 豊他編. 東京:メディックメディア; 2013. 脳血管障害; p. J81-J93.
- 2) 田中耕太郎. 脳血管障害の急性期マネージメント. 清水宏明編. 東京:文光堂; 2014. 脳血管障害の診断に役立つ分子生物学—単一遺伝子異常による脳卒中; p. 15-7.
- 3) 田中耕太郎. 薬がみえる. 医療情報科学研究所編. 東京:メディックメディア; 2014. 脳血管障害; p. 188-209.
- 4) 高嶋修太郎. 今日の治療指針 2014. 山口 徹, 北原光夫編. 東京:医学書院; 2014. 視床痛; p 890-1.
- 5) 高嶋修太郎. 脳血管障害の治療最前線. 辻省次, 鈴木則宏編. 東京:中山書店; 2014. 再発予防のための抗凝固療法; p. 240-7.
- 6) 田口芳治, 田中耕太郎. 脳血管障害の治療最前線. 辻 省次, 鈴木則宏編. 東京:中山書店; 2014. アクチュアル脳・神経疾患の臨床; p. 261-8.
- 7) 温井孝昌. 外来で神経を診る第1版. 高木 誠監修. 星野晴彦, 荒川千晶編. 東京:株式会社シービーアール; 2014. II, 重要な神経症候の外来アプローチ; p. 89-100.
- 8) 温井孝昌. 外来で神経を診る第1版. 高木 誠監修. 星野晴彦, 荒川千晶編. 東京:株式会社シービーアール; 2014. III, 代表的神経疾患の外来アプローチ; p. 269-82.

### ◆ 原 著

- 1) Yamada M, Tanaka M, Takagi M, Kobayashi S, Taguchi Y, Takashima S, Tanaka K, Touge T, Hatsuta H, Murayama S, Hayashi Y, Kaneko M, Ishiura H, Mitsui J, Atsuta N, Sobue G, Shimozaawa N, Inuzuka T, Tsuji S, Hozumi I. Evaluation of SLC20A2 mutations that cause idiopathic basal ganglia calcification in Japan. *Neurology*. 2014; 82(8): 705-12.
- 2) Hattori N, Nomoto M, 6500-004 Study Group (Tanaka K et al.). "Sustained efficacy of apomorphine in Japanese patients with advanced Parkinson's disease". *Parkinsonism Relat Disord*. 2014; 20(8): 819-23.
- 3) Miura K, Takashima S, Matsui M, Tanaka K. Low frequency of leisure-time activities correlates with cognitive decline and apathy in patients with parkinson's disease. *Advances in Parkinson's Disease*. 2014; 3: 15-21.
- 4) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. パーキンソン病に対する実臨床下におけるプラミペキソール徐放錠の有効性および安全性の検討. *Ther Res*. 2014; 35: 449-54.

### ◆ 症例報告

- 1) Taguchi Y, Takashima S, Noguchi K, Tanaka K. Findings of 123I-iomazenil SPECT during and after stroke-like episodes in a patient with MELAS. *Clin Nucl Med*. 2014; 39: e334-5.
- 2) Taguchi Y, Takashima S, Tanaka K. Improvement in Parkinsonism with Zonisamide Treatment in a Patient with Dementia with Lewy Bodies. *Journal of Neurology & Stroke*. 2014; 1: e1-3.
- 3) Hata Y, Yoshida K, Kinoshita K, Nishida N. Sudden unexpected death owing tounilateral medial medullary infarction with early involvement of the respiratory center. *Leg Med (Tokyo)*. 2014 May; 16(3): 146-9.
- 4) Hata Y, Kinoshita K, Miya K, Hirono K, Ichida F, Yoshida K, Nishida N. An autopsy case of infantile-onset vanishing white

matter disease related to an EIF2B2 mutation (V85E) in a hemizygous region. *Int J Clin Exp Pathol.* 2014 May 15; 7(6): 3355-62.

- 5) 温井孝昌, 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 小西宏史, 田中耕太郎. 可溶性 IL-2 受容体値が疾患活動性と関連した神経 Sweet 病の 1 例. *臨床神経.* 2014 ; 54 : 876-81.

#### ◆ 総説

- 1) 田中耕太郎. 経口薬 BG-12 (フマル酸ジメチル) の再発寛解型多発性硬化症に対する有効性. *Brain & Nerve.* 2014 ; 19(1) : 6-7.
- 2) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防—日本人にとって最適な抗血栓療法とは—. *日内会誌.* 2014 ; 103 (suppl) : 115-6.
- 3) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防—日本人にとって最も有用な抗血小板療法とは—. *相楽医報.* 2014 ; 148 : 40-1.
- 4) 田中耕太郎. 多価不飽和脂肪酸 (EPA, DHA) と脳卒中. *日本臨床.* 2014 ; 72(Suppl 5) : 270-6.
- 5) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防—日本人にとって最適な抗血栓療法とは—. *日内誌.* 2014 ; 103(9) : 2252-60.
- 6) 田中耕太郎. 新しい抗血小板療法のエビデンス TRA 2P-TIMI50. *Clinical Neuroscience.* 2014 ; 32(10) : 1138-9.
- 7) 田中耕太郎. 脳梗塞急性期の病態と治療のターゲット. *神経内科.* 2014 ; 81(5) : 519-26.
- 8) 田中耕太郎, Hacke W, 豊田一則, 平野照之, 野川 茂. 新規経口抗凝固薬時代の心房細動患者の脳卒中予防—リアルワールドにおける抗凝固療法の課題と将来展望. *Medical Tribune.* 2014 ; 47(51) : 28-9.
- 9) 高嶋修太郎. Constructive Debate 抗血栓療法中の頭蓋内出血に対してどのように対処すべきか? 早期再開不支持の立場から. *Cardio-Coagulation.* 2014 ; 1 : 191-5.
- 10) 田口芳治. 脳梗塞慢性期内科治療. *脳神経外科.* 2014 ; 42 : 1159-71.
- 11) 田口芳治, 田中耕太郎. 15 回の脳虚血発作をくり返した capsular warning syndrome の 1 例. *分子脳血管病.* 2014 ; 13(1) : 97-101.
- 12) 道具伸浩, 田中耕太郎. 辺縁系脳炎症状と脳梗塞が出現した神経梅毒の症例. *分子脳血管病.* 2014 ; 2(13) : 217-23.
- 13) 道具伸浩, 田中耕太郎. 妊産婦と脳血管疾患 9. 脳梗塞. *産科と婦人科.* 2014 ; 5(53) : 601-8.

#### ◆ 学会報告

- 1) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防—日本人にとって最適な抗血栓療法とは. 第 111 回日本内科学会講演会 教育講演 ; 2014 Apr 10-12 ; 東京.
- 2) 田中耕太郎. 新規抗凝固薬 (NOAC) の登場 慢性期脳梗塞治療へのインパクト. 第 55 回日本神経学会学術大会 教育セミナー ; 2014 May 21-24 ; 福岡.
- 3) 田中耕太郎. NOAC の登場によって変化してきた心原性脳塞栓症の治療現場. 第 26 回日本脳循環代謝学会総会 シンポジウム ; 2014 Nov 21-22 ; 岡山.
- 4) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防—リスクとベネフィットから見た最適な抗血小板療法. 第 26 回日本脳循環代謝学会総会学術会 ランチョンセミナー ; 2014 Nov 21-22 ; 岡山.
- 5) 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 温井孝昌, 平野恒治, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 同一症状を繰り返す一過性脳虚血発作の特徴. 第 39 回日本脳卒中学会総会 ; 2014 Mar 13-15 ; 大阪.
- 6) 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 温井孝昌, 平野恒治, 小西宏史, 吉田幸司, 林智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 一過性脳虚血発作における脳虚血の傍証について. 第 55 回日本神経学会学術大会 ; 2014 May 21-24 ; 福岡.
- 7) 高嶋修太郎. 脳梗塞再発予防に関する治療戦略. 日本内科学会北陸支部第 63 回生涯教育講演会 ; 2014 Sep 7 ; 射水. (招待講演)
- 8) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 大脳白質病変と多価不飽和脂肪酸の関連についての検討. 第 39 回日本脳卒中学会総会 ; 2014 Mar 13-15 ; 大阪.
- 9) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 脳梗塞患者における年代別の多価不飽和脂肪酸の検討. 第 111 回日本内科学会総会 ; 2014 Apr 10-12 ; 東京.
- 10) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 新規経口抗凝固薬発売後の非弁膜症性心房細動による心原性脳塞栓症の診療変化についての検討. 第 55 回日本神経学会総会 ; 2014 May 21-24 ; 福岡.
- 11) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 新規経口抗凝固薬発売後の非弁膜症性心房細動による心原性脳塞栓症の診療変化. 第 1 回日本心血管脳卒中学会学術集会 ; 2014 Jun 6-7 ; 埼玉.

- 12) 田口芳治. 一般高齢者における心房細動の認知度調査. 第 56 回日本老年医学会総会; 2014 Jun 12-14; 福岡.
- 13) 田口芳治, 高嶋修太郎, 井内和幸, 田中耕太郎. 特発性レム睡眠行動異常症の MIBG 心筋シンチグラフィと <sup>123</sup>I-FP-CIP SPECT についての検討. 第 8 回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres; 2014 Oct 2-4; 京都.
- 14) 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 片頭痛における血中多価不飽和脂肪酸濃度と EPA 製剤の有効性の検討. 第 42 回日本頭痛学会総会; 2014 Nov 14-15; 山口.
- 15) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. Cerebral microbleeds と血清 Cystatin C の関連についての検討. 第 26 回日本脳循環代謝学会総会; 2014 Nov 21-22; 岡山.
- 16) 温井孝昌, 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 急性期脳梗塞の臨床病型と多価不飽和脂肪酸の関連についての検討. 第 39 回日本脳卒中学会総会; 2014 Mar 13-15; 大阪.
- 17) 温井孝昌, 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. TOAST 分類で原因不明に分類される脳梗塞の臨床的特徴. 第 55 回日本神経学会総会; 2014 May 21-24; 福岡.
- 18) 温井孝昌, 高嶋修太郎, 山本真守, 田口芳治, 道具伸浩, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 田中耕太郎. 脊髄サルコイドーシスとして加療されたがステロイド治療への反応が乏しく頸椎症性髄内浮腫と診断した 1 例. 第 224 回日本内科学会北陸地方会; 2014 Sep 7; 射水.
- 19) 温井孝昌, 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 神経経口抗凝固薬服用下における心原性脳塞栓症例の検討. 第 26 回日本脳循環代謝学会総会; 2014 Nov 21-22; 岡山.
- 20) 小西宏史, 中嶋 歩, 吉田幸司, 山本真守, 林 智宏, 温井孝昌, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 脳梗塞を繰り返しサルコイドーシスと診断した 1 例. 第 138 回日本神経学会東海北陸地方会; 2014 Mar 8; 名古屋.
- 21) 小西宏史, 吉田幸司, 山本真守, 林 智宏, 温井孝昌, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 脳梗塞を繰り返し 高次機能障害を伴った神経サルコイドーシスの一例. 第 32 回日本神経治療学会総会; 2014 Nov 20-22; 東京.
- 22) 吉田幸司\*, 田口芳治, 林 智宏, 山本真守, 小西宏史, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 当院における若年性脳梗塞 (50 歳以下) の検討. 第 39 回日本脳卒中学会総会; 2014 Mar 13-15; 大阪.
- 23) 吉田幸司\*, 畑由紀子, 西田尚樹, 田中耕太郎. Autopsy-proven progressive supranuclear palsy の臨床病理学的検討. 第 55 回日本神経学会学術大会; 2014 May 21-24; 福岡.
- 24) 吉田幸司\*, 畑由紀子, 木下耕史, 西田尚樹, 田中耕太郎. 認知症主体の症状を呈した PSP と考えられる 1 剖検例. 第 55 回日本神経病理学会総会学術研究会; 2014 Jun 5-7; 東京.
- 25) 吉田幸司\*, 小西宏史, 林 智宏, 山本真守, 温井孝昌, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 自己食空胞性ミオパチーの 1 例. 第 139 回日本神経学会東海北陸地方会; 2014 Jul 5; 名古屋.
- 26) 吉田幸司\*, 畑由紀子, 田口芳治, 西田尚樹, 田中耕太郎. 小脳歯状核に強い所見を認めた Autopsy-proven progressive supranuclear palsy (PSP) の高齢男性例. 第 6 回日本神経病理学会東海・北陸地方会; 2014 Sep 27; 岐阜.
- 27) 吉田幸司\*, 小西宏史, 林 智宏, 山本真守, 温井孝昌, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. Body lateropulsion で発症し 当初 MRI で確認できなかった延髄梗塞の 1 例. 第 140 回日本神経学会東海北陸地方会; 2014 Nov 1; 福井.
- 28) 吉田幸司\*, 畑由紀子, 田口芳治, 西田尚樹, 田中耕太郎. 法医学解剖で診断された大脳皮質基底核変性症の臨床病理学的検討. 第 33 回日本認知症学会学術集会; 2014 Nov 29-Dec 1; 横浜.
- 29) 林 智宏, 温井孝昌, 山本真守, 吉田幸司, 小西宏史, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 抗 PL-7 抗体陽性多発性皮膚筋炎に併発した抗 MuSK 抗体陽性重症筋無力症の 1 例. 第 222 回日本内科学会北陸地方会; 2014 Mar 2; 福井.
- 30) 山本真守, 道具伸浩, 林 智宏, 吉田幸司, 小西宏史, 温井孝昌, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. クリプトコッカス髄膜炎に対し ステロイド治療が奏効した 1 例. 第 32 回日本神経治療学会総会; 2014 Nov 20-22; 東京.
- 31) 旭 雄士, 柏崎大奈, 高 正圭, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 黒田 敏. STN-DBS におけるマルチプログラミング機能の効果の検討. 第 53 回定位・機能神経外科学会総会; 2014 Feb 7-8; 大阪.
- 32) 三浦佳代子, 松井三枝, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. パーキンソン病患者における神経心理機能と高次生活機能との関連. 第 49 回北陸心理学会大会; 2014 Oct 18; 金沢.
- 33) 三浦佳代子, 松井三枝, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. パーキンソン病患者における神経心理機能の特徴および高次生活機能との関連. 第 38 回日本高次脳機能障害学会; 2014 Nov 28-29; 仙台.

#### ◆ その他

- 1) 田中耕太郎. 脳梗塞 薬で血栓溶かすー発症 4 時間半以内に投与. 北日本新聞 (朝刊). 2014 Jan 8; 13.
- 2) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防ーリスクとベネフィットからみた抗血小板療法ー. SCRUM 講演会 in 奈良; 2014

Jan18；奈良。

- 3) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防ーリスクとベネフィットからみた抗血小板療法ー. 砺波医師会学術講演会；2014 Jan 28；砺波.
- 4) 田中耕太郎. 認知症/認知機能の低下を防ぐためには. 認知症/認知機能の低下を防ぐー糖尿病診療を考える会；2014 Jan 29；富山.
- 5) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防ー最新の抗血栓療法. 第 16 回徳島脳卒中研究会；2014 Feb 9；徳島.
- 6) 田中耕太郎. 脳梗塞の再発予防戦略ー最近の脂質管理と抗血栓療法. 第 6 回 Medical Seminar in Kurobe；2014 Feb 20；黒部.
- 7) 田中耕太郎. 老化に伴う病気の治療 (3) 認知症の進行 薬で抑制. 北日本新聞 (朝刊). 2014 Feb 26；11.
- 8) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防ー日本人にとって最適な抗血小板療法とはー. 第 10 回脳梗塞の治療とケアを考える会；2014 Feb 27；神戸.
- 9) 田中耕太郎. 老化に伴う病気の治療 (4) パーキンソン病 薬で改善. 北日本新聞 (朝刊). 2014 Mar 5；13.
- 10) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防ー日本人にとって最適な抗血小板療法とはー. 相楽綴喜医師会学術講演会；2014 Mar 8；京都府相楽郡.
- 11) 田中耕太郎. 脳血管障害の再発予防戦略における EPA の役割. EPA Stroke Clinical Seminar；2014 May 1；厚木.
- 12) 田中耕太郎. 臨床エビデンスより見た抗血小板療法. 第 30 回富山県脳卒中研究会研究会；2014 May 9；富山.
- 13) 田中耕太郎. 脳血管障害の再発予防戦略における EPA の役割. STROKE Fatty Acid Seminar；2014 May 30；仙台.
- 14) 田中耕太郎. 脳の健康と ω3 系多価不飽和脂肪酸ーEPA と DHA の役割. 武田薬品工業 (株) 社外勉強会講演会；2014 Jun 12；富山.
- 15) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防ー日本人にとって最適な抗血栓療法. 平成 26 年度第 1 回富山脳卒中地域連携の会；2014 Jun 16；富山.
- 16) 田中耕太郎. NOAC 登場後の心原性脳塞栓症の再発予防戦略. ストップ脳卒中プロジェクト 全国一斉エリア会議研究会；2014 Jul 2；富山.
- 17) 田中耕太郎. 脂肪酸と脳の健康を考える. EPA Clinical Seminarー脂肪酸と脳の関係を考えるー；2014 Jul 10；東京.
- 18) 田中耕太郎. NOAC 登場後の心原性脳塞栓症の再発予防戦略. Stroke Forum in Shiga 研究会；2014 Jul 17；草津.
- 19) 田中耕太郎. 脳卒中予防における降圧の重要性. 大日本住友製薬 社内勉強会；2014 Aug 28；富山.
- 20) 田中耕太郎. 脳血管障害の再発予防戦略における脂肪酸の役割. 埼玉東部 EPA Stroke Clinical Seminar；2014 Sep 11；越谷.
- 21) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防ーベネフィット・リスクから見た抗血小板療法. ATIS Exchange Meeting；2014 Sep 13；東京.
- 22) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防ーベネフィット・リスクから見た抗血小板療法ー. ATIS Web Conference in 北陸；2014 Sep 26；東京.
- 23) 田中耕太郎. 脳血管障害の再発予防戦略における EPA の役割. 全国 EPA 講演会；2014 Oct 18；東京.
- 24) 田中耕太郎. NOAC 登場後の心原性脳塞栓症の再発予防治療. Stroke Conference Kyoto；2014 Oct 11；京都.
- 25) 田中耕太郎. レビー小体型認知症の症例検討. DLB Expert Meeting；2014 Oct 20；富山.
- 26) 田中耕太郎. パーキンソン病の地域連携について. 富山 PD 治療地域連携を考える会；2014 Oct 23；富山.
- 27) 田中耕太郎. 脳梗塞の治療と再発予防ー抗血栓療法を中心に. 脳梗塞患者さんのアドヒアランス向上を目指したイノベーションの創造；2014 Oct 25；東京.
- 28) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防における抗血小板療法のベネフィットとリスク. 対馬市学術講演会；2014 Oct 30；対馬.
- 29) 田中耕太郎. 脳循環代謝学ー研究の進歩を振り返って. 第 23 回なにわ脳神経内科懇話会 (なにわ会)；2014 Nov 1；大阪.
- 30) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防ーベネフィット・リスクから見た抗血小板療法. 第 10 回新居浜 CNS Meeting；2014 Nov 6；新居浜.
- 31) 高嶋修太郎. 認知症の医学的理解. 平成 25 年度認知症ケア研修；2014 Frb 17；富山.
- 32) 高嶋修太郎. 神経難病の病態・治療について. 平成 26 年度富山市保健所研修；2014 Oct 29；富山.
- 33) 高嶋修太郎. 認知症の医学的理解. 平成 26 年度認知症ケア研修；2014 Nov 10；富山.
- 34) 高嶋修太郎. 認知症の医学的理解. 平成 26 年度認知症ケア研修；2014 Nov 17；富山.
- 35) 高嶋修太郎. 心原性脳塞栓症の 2 次予防における課題. Toyama Network Meeting；2014 Nov 26；富山.

- 36) 高嶋修太郎. 認知症の医学的理解. 平成 26 年度認知症ケア研修 ; 2014 Dec 1 ; 富山.
- 37) 田口芳治. 神経難病に関する基礎知識 神経難病の理解. 難病患者等ホームヘルパー養成講習会 ; 2014 Feb 4 ; 富山.
- 38) 田口芳治. 眼で見る神経内科. 第 17 回富山県神経内科医会研究会講演会 ; 2014 Jul 16 ; 富山.
- 39) 田口芳治. 高齢者てんかんと薬物療法. 全砺波薬剤師会学術研修会 ; 2014 Jul 18 ; 富山.
- 40) 田口芳治. Cerebral microbleeds と多価不飽和脂肪酸の関連についての検討. 京都 EPA フォーラム ; 2014 Oct 11 ; 京都.
- 41) 田口芳治. パーキンソン病の診断と治療について. 富山 PD 治療地域連携を考える会 ; 2014 Oct 23 ; 富山.
- 42) 田口芳治. 脳小血管病と多価不飽和脂肪酸についての検討. 第 2 回富山脂肪酸研究会 ; 2014 Nov 6 ; 富山.
- 43) 田口芳治. 不整脈から起こる危険な脳梗塞とは その原因と治療. 第 8 回脳卒中公開講座「脳卒中はごめんだ！」 ; 2014 Nov 29 ; 富山.
- 44) 道具伸浩. 新規経口抗凝固薬 (NOAC) の使用経験 急速に麻痺の改善した症例. 富山県新規経口抗凝固薬適正使用セミナー ; 2014 Mar 20 ; 富山.
- 45) 道具伸浩. 内頸動脈由来の脳梗塞と考えた一例. 立山脳卒中セミナー ; 2014 Jun 18 ; 富山.
- 46) 道具伸浩. 脳梗塞の鑑別が必要であった多発性硬化症の一例. MS クリニカルセミナー ; 2014 Dec 3 ; 富山.
- 47) 小西宏史, 中嶋 歩, 吉田幸司, 山本真守, 林 智宏, 温井孝昌, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 1 年間に 3 回発作を繰り返し原因診断に苦慮した脳梗塞. 富山 Stroke カンファレンス ; 2014 Mar 6 ; 富山.
- 48) 小西宏史, 山本真守, 林 智宏, 吉田幸治, 温井孝昌, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 野口 京. T2 強調画像で中心前回に低信号域を認めた若年発症筋萎縮性側索硬化症の 1 例. 第 52 回北陸神経内科懇話会 ; 2014 Jun 21 ; 金沢.
- 49) 三浦佳代子, 松井三枝, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. パーキンソン病患者における認知機能の特徴. 富山大学学際交流会 ; 2014 Mar 10 ; 富山.